

Re: こどもの城

表参道にこどもの居場所がどれだけあるだろうか。表参道の顔とも言えるこの場所に、そんな子どもたちのための居場所をつくる。ブランドショップやオフィスとともに広場をつくることで、新たな表参道のあり方を提案する。こうして表参道に誘い込まれたファミリー層は街に賑わいを、子ども達にとっては貴重な思い出の場となる。樹木のような建物が子供たちに居場所を与える。大人のための閉じた表参道から、もっと開けた表参道へ。

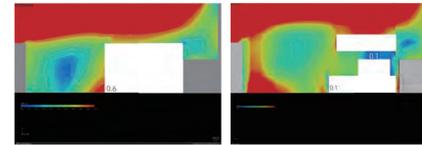
表参道 × こども

表参道エリアを歩いてみると子どもの姿がすくないことに気づく。小学校は周辺700m以内に4つあり、敷地の面する青山通りにはこどもの城の跡地がある。しかし表参道にこどもの居場所をつくることで新しい表参道を提案できる。



そよ風を生み出す広場

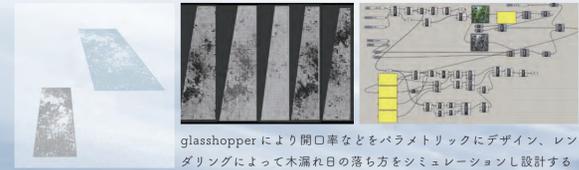
広場を屋上ではなく中層部に配置することで、でグランドレベルでの風環境を向上させ、広場にも緩やかな風が入り込むようにボリューム操作を行った。



こども広場の抜けは、足元部分の風速を1/6程度に抑え、またその広場にそよ風のような風を吹かせる。

木漏れ日を作るファサード

メッシュファサードは木漏れ日のような影を落とす。材質はステンレス加工にすることで、青葉やイルミネーションの光を鈍く反射する。



glasshopperにより開口率などをパラメトリックにデザイン、レンダリングによって木漏れ日の落ち方をシミュレーションし設計する

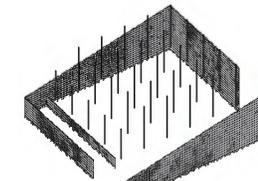
表参道 × 大人

表参道には数々のハイブランドが軒を連ねることから、落ち着いた大人のための街になっている。しかし子育て世代はどのような街でのショッピングを楽しむことができない。

表参道 × LIFE

子どもから大人まで生涯を通じて関われる表参道。小さい頃遊んだ場所に大人になった時遡る目的で訪れる。子どもがも一緒に表参道で買い物ができる、新しいライフスタイルも生まれる。

樹木のような構造体

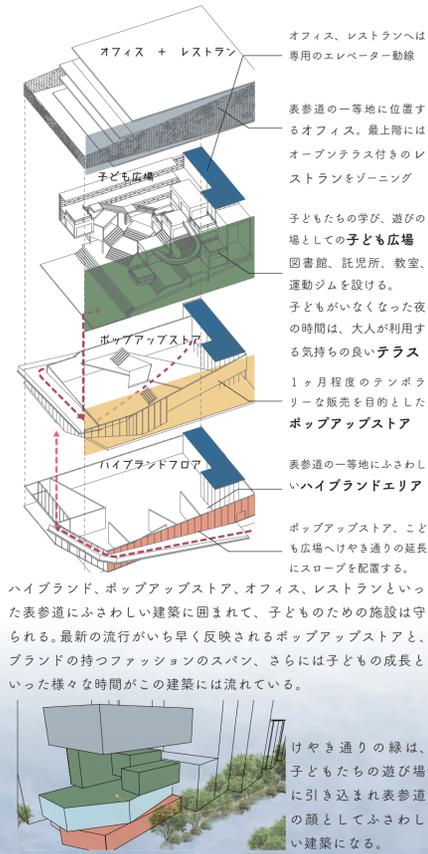


オフィスの柱
細い柱によって空間を分節する。

ファサード
樹木の葉の部分となるオフィス部のファサードから執務空間に木漏れ日のように日射が入り込み、ケヤキ通りの緑とイルミネーションを映し出す。

こども広場の柱
樹木の枝分かれの様に柱を分岐させ、まるでケヤキの樹の間を子どもたちが駆け回るような広場ができる。

リテールの柱
ハイブランドなどのリテールがブランニングしやすいよう、リジットに柱を計画する。



オフィス、レストランへは専用のエレベーター動線

表参道の一等地に位置するオフィス。最上階にはオープンテラス付きのレストランをゾーニング

子どもたちの学び、遊びの場としてのこども広場
図書館、託児所、教室、運動ジムを設ける。
子どもがいなくなった夜の時間は、大人が利用する気持ちの良いテラス

1ヶ月程度のテンポラリーな販売を目的としたポップアップストア

表参道の一等地にふさわしいハイブランドエリア

ポップアップストア、こども広場へけやき通りの延長にスロープを配置する。

ハイブランド、ポップアップストア、オフィス、レストランといった表参道にふさわしい建築に囲まれて、子どものための施設は守られる。最新の流行がいち早く反映されるポップアップストアと、ブランドの持つファッションのスパン、さらには子どもの成長といった様々な時間がこの建築には流れている。

けやき通りの緑は、子どもたちの遊び場に引き込まれ表参道の顔としてふさわしい建築になる。

